

巻頭特集

「もったいない」を誰かのために フードバンク活動

食品廃棄物処理の問題が最近メディアで大きく取り上げられたこともあり、食品廃棄への関心が高まっています。一方、さまざまな理由で生活困窮者となり、食べるものに困っている人も年々増加しています。この両極端な現状の架け橋となつているのがフードバンクです。コープぎふはフードバンク活動を行う「NPO法人セカンドハーベスト名古屋」に協力しています。



日本のもったいない事情

日本では年間約642万トン、食品由来の廃棄物を排出しています。このうち、本来まだ食べられるのに廃棄されているもの、いわゆる「食品ロス」は約642万トンと推計されています。（日本農林水産省平成24年度推値）

もったいないことなる理由

- 3分の1ルール：食品業界で設定されている商習慣で、食品メーカーは卸売り・小売店に、製造日から賞味期限までの期間の3分の1までに納品しなければなりません（納品期限）。小売店は消費者が購入してから3分の1賞味期限が残るように販売します（販売期限）。この基準に外れたものは廃棄となります。
- 予備品：商品の破損に備えた予備品。1品目1個ずつ作ったとしても500品目あれば500個。使わなかったものが対象となります。
- 印字ミス：中身は正常でも印字にミスがあったものはすべて廃棄されます。
- 棚卸しなどで入れ替えのあった商品

もったいないの裏側で...

働かなくても働けない、就職したものの次の給料までの生活費がないなどで、明日食べるものにも困っている生活困窮者が増えています。東海地区の生活保護受給者は約10万人、潜在的な生活困窮者とあわせると約20万人いると考えられています。

フードバンクの取り組み

フードバンクとは：まだ十分食べられるのにやむなく廃棄対象となった食品を、企業、個人から無償で譲り受け、福祉施設や、生活困窮者にお届けし、自立支援に役立てていただいています。

コープぎふはフードバンク活動に協力しています

組合員さんにお届けする商品は、メーカー・卸業者・生産者からいったん小牧物流センターに納められ、仕分けされます。小牧物流センターで食品ロスとなった商品は、フードバンク活動をするセカンドハーベスト名古屋で活用していただいています。



小牧物流センターからセカンドハーベスト名古屋に届ける1ヶ月分の食品品数
ドライ食品：延べ400アイテム、30000点
パン：延べ800アイテム、18000点

食品ロス = まだ十分食べられる状態であるにもかかわらず廃棄されてしまう食品

日本の食品ロス：年間約642万トン

事業での食品ロス 331万トン

- 規格外品
- 返品
- 売れ残り

家庭での食品ロス 312万トン

- 食べ残し
- 過剰除去
- 手付かず

世界全体の食料援助量(2011年) 約400万トン



日本の米の収穫量 約800万トン



食品を受け取っている
福祉団体くらし応援ネットワーク
(障がい者支援施設)

毎日の食事をみなさん楽しみにされています。家庭の味を食べてもらいたくて食材を調達していますが、予算は限られており、フードバンクからいただく食材はとてありがたいです。料理もバラエティー豊かになり、みなさんよろこんでいます。



認定NPO法人 セカンドハーベスト名古屋の活動

名古屋市北区にあるNPO法人で、2008年からフードバンク活動に取り組んでいます。福祉施設やホームレス支援団体など、愛知・岐阜・三重県内の300団体が登録し、毎週30〜40団体に食品を無料で配布しています。また行政からの依頼で生活困窮世帯への個人支援も行っており、食べ物を送ることで自立支援を行っています。



セカンドハーベスト名古屋は1年間に500トンの食品が届きます。金額にすると3億円。1日に換算すると約100万円分の食品が届きます。これを、支援を必要とされている人の年齢や性別、ライフラインの有無などの少ない情報から、できるだけその人にあった食品を組み合わせて送っています。届け先で食品ロスとなつてしまわないよう、食べ方が分かりづらいと思われるものは、食べ方やレシピを伝える工夫もしています。

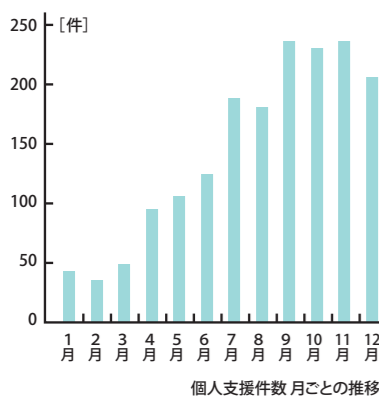
セカンドハーベスト名古屋でボランティアをする立野さん

食品でつながっています
実際にはお会いしたことはありませんが、届け先の方のよこごぶ顔を想像しながら食品を詰めています。私の送った食べ物で命を取り留めたというお手紙をいただき、少しは役に立っているのかなと思いが、うれしかったです。



セカンドハーベスト名古屋には1年間に500トンの食品が届きます。金額にすると3億円。1日に換算すると約100万円分の食品が届きます。これを、支援を必要とされている人の年齢や性別、ライフラインの有無などの少ない情報から、できるだけその人にあった食品を組み合わせて送っています。届け先で食品ロスとなつてしまわないよう、食べ方が分かりづらいと思われるものは、食べ方やレシピを伝える工夫もしています。

食品の詰め合わせ発送件数と代理取引の件数の月ごと推移(2015年度)



私たちが「もったいない」
● 食品ロス問題の実態を知り、関心をもち続ける。
● 食べ物への感謝の心を大切に、「残さず食べる」など食についての習慣を身につけ、次の世代に伝える。

認定特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋
〒462-0845 愛知県名古屋市北区柳原3-4-2小菅ビル1F
TEL:052-913-6280 E-mail:info@2h-nagoya.org

セカンドハーベスト名古屋

検索



福祉施設からのお礼の手紙

食品を受け取った方からのお礼の手紙

今の私には、涙がでるほどのうれしさです。本当にありがとうございます。(女性)

本当に困ったとき助けてもらい、食べ物があることが幸せだと感じました。明日食べるものがないと心配しなくてよいことが、こんなにすごいことだとわかりました。本当にありがとうございました。(男性)

行政機関の生活支援窓口

明日食べるものにも困っている方々が相談に来られます。食品を提供することで信頼関係が生まれ、自立に向けた相談がしやすくなります。